



WE, JOKERS

英語のジョークを楽しむ会会報

No.29 February 10, 2012

- ジョークの心得三か条: 1. ジョークは心のゆとりであり、人生の潤滑油です。
2. ジョークで言語の壁に挑むのは知的快感です。
3. ジョークは簡潔が至上です。

ジョークと私

「不心得な了見」の愉しみ

中嶋 秀隆

ジになってしまいます。訳者は訳文で、“except his eyes”を前にもつてきて「眼を除くと」とはせず、あとにもつてきて「ただ眼だけがちがう」と、英語の語順に合わせて訳しています。それによって、原文の力強い響きが日本語に見事に移されているのではないのでしょうか。

英語を日本語に訳す際、重要なくだりを英語の語順に沿って訳す原則は、ジョークの翻訳にも当てはまるかもしれません。第 11 回ジョーク・コンテストで土屋政雄さんが次のジョークを出題され、私も 1 票入れました。

“A man will pay \$2 for a \$1 item he needs.

A woman will pay \$1 for a \$2 item that she doesn't need.”

これを素直な日本語にすると、こうなるでしょうか。

「男性は 1 ドルの価値の必要なものを 2 ドルで買う。女性は 2 ドルの価値の unnecessary なものを 1 ドルで買う。」

これでは、原文のサゲである “that she doesn't need” が生かされません。ここは『老人と海』の福田恆存訳にならない、サゲをあともつてくるのがよいようです。すなわち、「男性は 1 ドルの価値の必要なものを 2 ドルで買う。女性は 2 ドルの価値のもの 1 ドルで買う。ただし、必要のないものなんだよね」

ある米国人からパーティに招いてもらったことがあります。彼は、いたずらっぽい目つきで、こういったのです。

“You are invited to my party. I am thinking of holding a party, inviting all the people ...I don't like.”

やられた、と思いました。”



ある」というそうです。

(経済学の世界では、「100 人の経済学者がいれば、経済政策は 11 ある」というそうです。)

訳者のご苦労は並大抵のものではないと思います。ある翻訳家のエッセイを読んで、ニヤヤリしたことがあります。翻訳本の日本語にいざかしく思うところがあっても、原書の原文にあたってみようとという「不心得な了見」は起こさないように、とアトバイスしているからです。

しかし、原書がネットで簡単に入手できるようになった今日、この愉しみはやめられません。そして「不心得な了見」のおかげで気づいたことがあります。

ヘミングウェイの『老人と海』の初めの方に、特に気に入っている一文があります。

「この男に関するかぎり、なにかも古かった。ただ眼だけがちがう。それは海とおなじ色をたたえ、不屈な生気をみなぎらせていた」(福田恆存訳) この原文は、次のとおりです。

“Everything about him was old except his eyes and they were the same color as the sea and were cheerful and undefeated.”

原文を素直に訳すと、「眼を除くと、この男のすべてが古かった。それは…」というところでしょうが、これでは、老人の眼はどんよりしたイメー

第 29 回研究発表会

ジョーク・コンテスト司会始末記

深澤満穂 MC

「ジョーク」に取り付かれて早 10 年。意外なものが馬鹿受けしたり、自分では自信のあるものが受けなかったり (shaggy-dog joke と言うのだそうだ) している。



その昔さる大家に受けようとして「今日のタツテルパーチイは疲れましたね」と言ったら、少し気色ばまれて「深澤さん、そんなジョークは古い。10 年前に私が作ったんですよ」と市民権を主張された。

その大家が翌日の講演で「ジョークに著作権はありません」などと仰っておられるので、これもやっぱりジョークなのかな？

だから難物に遭遇したら、分かるまで質問し「落ち」がわかった処で笑えばよろしい。また誰でも知っているような教科書的なものに接したら「そんなの知ってるよ」的態度ではなく、できるかぎり素直に笑ってあげたほうがよい (しかしこれが意外と難しい)。

前置きが長くなって申し訳ない。

今度始めて「ジョーク・コンテスト」の司会を仰せつかった。次いで「ジョーク・コンテスト観戦記」を書いて下さいとの依頼を受けた。これは司会以上の“tall order”である。私自身が司会として主体であったから、それを客体として観るのは難しい。だから以下に述べるのは「観戦記」などという物ではなく「司会始末記」くらいのも物だと思っ頂きたい。以上がまた前置き。

司会の話。通常展示されるジョークのうち私が直ぐ分かるのは大体半分くらいだから、司会中に立ち往生しないように、幹事から頂いた原案を何度も読んでパンチラインは何か、インターネットで類似のジョークは無いか調べ、少しは勉強した。

さっぱりわからないのががあるが、いくつか直ぐわかるものがあったので先ず一安心。でもどうせ英語を母国語としない我々がなんとか笑うのであるから、難易度の異なる作品の中から私のわかる範囲での解説めいたものを試みた。あんまり難しいのはお手上げだから、恥ずかしながら正直に「これは分かりません」と初めからシヤツポを脱ぎ、参加者にお知恵を頂くことにした。実際には多くの方々から暖かい援助が出て、スムーズに話しが運んだり自分として教わるどころが多かった。又比較的人口に膾炙したのもそれなりに大切に扱おうと思った。

当日始まるともう夢中で口から出任せ。一番初めは自分の作品。腫れものに触るような心境。フサカ「これは私のです。面白いですか？」とも聞けずさんなりやり過ぎす。それでも最後に 2 票入ってほつとした。

実際に登場した幾つかの例に触れる。2 番のモームのものはネットで見ると前者がモーム自身、後者が彼の上司と、関係は少しわかったが、今もってピントきていない。9 番の銀行の TV。「このおばさん TV の目的を知らず少し足りないのか」と思っていた。ところが助太刀が出て「目的はわかっても万一写るのならやはり良いところを見せたい」という女性心理との解説を受けて大いに納得。14 番の男女間の買物心理。男は気前良く、女は一見買物上手のようで実は無駄使い。中学一年生でもわかる易しい語と短い文章で男女間の真理を突いており合点がいく。15 番、贈り物に椅子は良いが、電気椅子 (どんなものか。想像は出来ても実際に見た人はいるまい) と聞いて吃驚。西欧における婿さんと義母の関係は我々日本人には到底わからないくらい複雑なものらしい。16 番と同じ類のジョークがあった。それ「良いお仕事らしいわね、10 分間に 5 回も昇給 (raise) するなんて」とあった。英国の女性は混雑の中で此のくらい度胸のある発言ができるのかなと、感心もした。

自分が何をどう喋ったかは自分ではわからない。終わって宮本先生や岡田さんから「今回は司会者自身の発言もあり、(喋り過ぎ？ 今までの方はおとなしかった?) 個人的 (マインペース?) で良かったんじゃないですか」とお褒めと受け取れる言葉を頂き、望外の幸せであった。

第29回研究発表会

新年懇親会風景

安藤 雅彦MC



JLC(Joke-Loving Club)の新年懇親会も3回目で、厳寒の折ながら15名もの参加があった。会長の音頭で乾杯ののち、会長挨拶、そしてビール、ワイン、ソフトドリンク、乾き物、おでんで歓談。宴半ばで2011年の功労者8名の表彰：

●ベスト研究発表賞：

- 1) 5月に「盗った話、盗られた話(間男とcuckold)」で、大島希巴江先生の前座を見事に努められた宮本倫好会員。
- 2) 同じく7月に「英語決まり文句のもじりー2」で master of pan の真価を発揮された豊田一男会員。
- 3) 同じく9月に「バルフと英語のジョーク」で age shooting joker の真価を示された深澤満穂会員。
- 4) 同じく11月に「ジョーク拾いは英字新聞から」で、さすがは master of humor hunting in journalism の草野淳会員。



●ベスト・ジョーク賞：

- 1) 1月に単純明快なる Smoking shortens your cigarette でジョーク・コンテンツに優勝した服部「深読み」陽一会員。

2) 同じく7月に Why people order double cheeseburger, large fries, and a diet coke? で全地球的矛盾をついて優勝の長谷川真弓会員。

3) 同じく9月に Doctor: You look so weak and exhausted. Are you having 3 meals a day as I have advised? Lady: Doctor, I thought you had said 3 males a day. で優勝し艶笑王の貫禄をみせつけた相原悦夫会員。

4) 同じく11月に For 25th wedding anniversary, they gave each other inscribed tombstones. Hers read "Here lies my wife, cold as usual" and his read "Here lies my husband, stiff at last." で艶笑系の大型新人としてデビューし優勝の豊田一男会員。各受賞者に表彰状と副賞の宝くじが授与された。豊田さんが見事ダブル受賞。受賞者のうち服部さんと長谷川さんは不参加だったため、その分の宝くじは全員で山分けとなった。



会長が本会創立5周年の記念行事の話題を出し、世の中になにか発表したいとの希望を表明した。これにつきいろいろな意見・感想が続出。結論として、出版の企画を含め松山さん、中島さん、豊田さん、相原さんの4賢人からなる超党派委員会で検討してもらうこととなり、実りある前向きな締めとなった。

冒頭に司会が「今年は残念ながら女性の参加がなく、これは寂しい限りです。今日はこれを『前向き』に捉えて、艶笑系の話題につき自主規制なくトコトコ討議できます」と述べた。が話題は全くそっちの方向には行かなかつた。さすが本会は品格が高いと言うべきか？ あるいは人間というものは、限られた自由の中で泳ぐことをより好むのでしょうか(？)。



アラブ人のユーモア

宮本 倫好

ユーモアのセンスは国により様々です。先年香港で行われた国際ユーモア学会では、アラブ諸国からの出席者は皆無で、彼らはジョークには無縁だと思っていました。しかし「アラブの春」で揺れるイスラム諸国の政治ジョークもなかなかのものだ、と最近知りました。英語に訳されたものから幾つかの例を。

大統領以下、軍の幹部が集まり、民衆に射撃の腕前を披露しました。

The Chief of Staff shot a pigeon, upon which the announcer proclaimed "Allahu Akbar! The Chief of Staff shot down ten pigeons!" It was a turn of the Minister of Defense and the announcer proclaimed, "Allahu Akbar! The Minister of Defense has shot down twenty pigeons!" When the turn of the President came, he could not shoot down any pigeons. Seeing this, announcer proclaimed most enthusiastically, "Allahu Akbar! The miracle happened! The dead pigeons are flying!"

北朝鮮の新指導者・金正恩の権威付けのために、彼が子供の時から射撃の天才だったというキヤンペーンが行われたという話と、例のチマチヨゴリ女性アナウンサーの絶叫型ニュース報道が、このジョークに重なりました。絶対主義下の政治風景は同じで、それをジョークにできるかどうかで、その国の健全性が計れる気がします。

During a cabinet meeting, one of the ministers kept looking from the window to watch his luxury car which he has just got. Noticing that, the Prime Minister said to him, "Don't worry about the car. We are all here!"

公益の保護者であるべき指導層が、一方でその裏奪者でもあるという、独裁主義下での両面性を風刺したジョークとも言えそうです。

"Our traditions are completely democratic! I will let the people choose between my two sons!"

これもそのまま北朝鮮に使えるジョークですね。

第 30 回研究発表会のご案内

会員各位のご参加をお待ちします。まだ会員になっておられない方もどうぞ。

- 日時：3月17日(土) 午後2時-4時
- 会場：平河町 Mercury Room
(クオリテイ 6階会議室)

- 交通：地下鉄・有楽町線麴町駅1番出口より徒歩2分。地図は、

<http://www.quality.co.jp/> どうぞ。

- プログラム

- ① 「英語のジョーク宅配便」創刊100号記念ジョーク宅配便 BEST THREE 選出
司会=新堂睦子 会員

- ② 研究発表「英語決まり文句のもじり(3)」
豊田一男 会員

- 参加費：会員・非会員とも500円。
- 研究発表会終了後、近くの喫茶店で交流会を開きます。こちらにも、どうぞご参加ください。
- 問合せ先：renraku@eigojoker.com

Joke-Loving Club

「英語のジョークを楽しむ会」の公式英語名は何で言うの？ と問われて、答えに窮していた会員の方からの要望により、上のように決まりました。略して **JLC** です。命名者は宮本倫好代表。「英語」に相当する訳語が入っていないのは、もちろんこれが英語で表記されているからです。

WE, JOKERS No.29

英語のジョークを楽しむ会 (Joke-Loving Club) 会報

発行日：2012年2月10日

発行人：世話人代表 宮本倫好

編集人：佐川光徳

発行所：英語のジョークを楽しむ会

〒102-0093 東京都千代田区平河町1-4-5 平和第一ビル

クオリテイ株式会社 気付

TEL:03-5275-6121, FAX:03-5275-6130

問合せ先：renraku@eigojoker.com